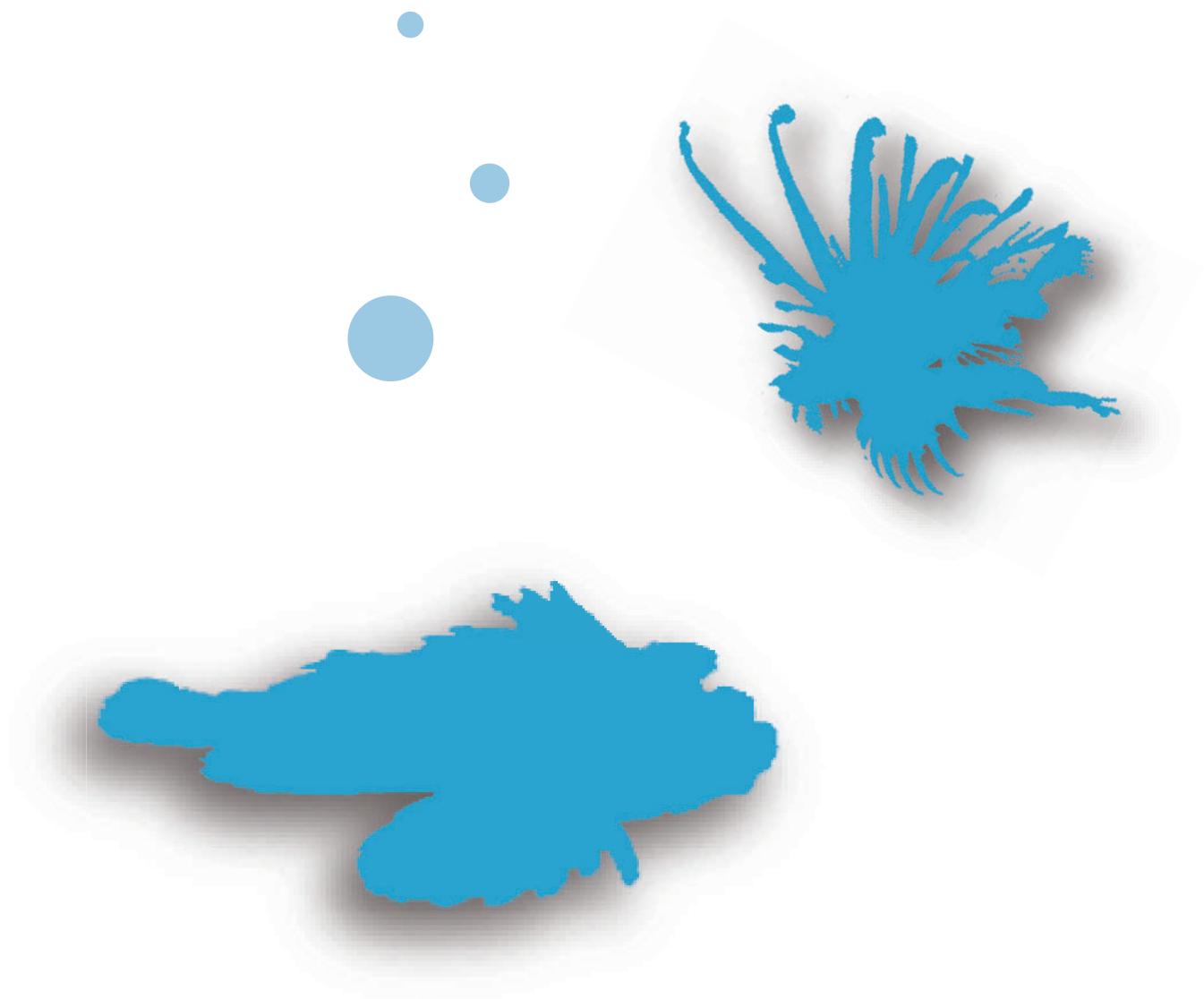


海の危険生物

砂浜や磯場は楽しいだけの場所ではありません。
きれいな生き物だけでなく危険な生き物も住んでいます。
彼らのことを知り、安全に海を楽しみましょう



GODAC

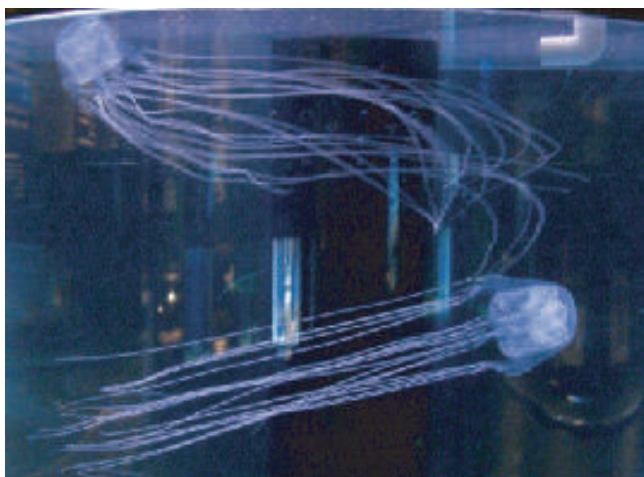
もっと知りたい 海のこと 地球のこと

名護市字豊原224-3 TEL:0980-50-0111

GODAC 検索



特に危険な生物



ハブクラゲ

長い触手に強い毒を持ちます。
半透明で見つけにくいので注意しましょう。
刺されたときは、お酢をかけた後、触手をはがし、傷口を冷やします。



アンボイナ

強力な毒をもつイモガイの仲間です。
刺されたら5分ほどで体が動かなくなるのですぐに海から上がることを。毒を吸いだし、すぐに病院へ。



ヒョウモンダコ

体長 10cm 程度の小さなタコです。
キレイな模様ですが絶対に触らないようにしましょう。かまれたときは、毒をしぼり出します。絶対に口では吸い出さないようにしましょう。
傷口をきつくしばってすぐに病院へ。



ウミヘビ

歯は短いが強烈的な毒を持ち、その毒の強さはハブの10~20倍と言われています。神経毒なので痛みやはれは、ほとんどないですが、筋肉が硬直し動けなくなります。かまれたら毒を吸い出し、すぐに病院へ。

注意点

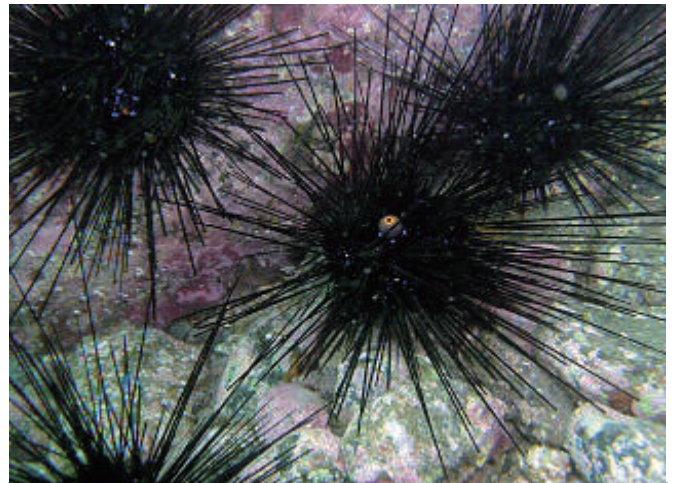
- ・危険生物の被害にあった場合、お酢を使うのはハブクラゲだけです。それ以外は、かえって症状を悪くする場合があるので、注意しましょう。

危険な生物



オニヒトデ

サンゴを食べることでも有名ですが、腕のトゲに毒をもっています。刺されたら、トゲを抜き、40～45℃のお湯につけると痛みが和らぎます。



ガンガゼ

トゲの長さが20cm以上にもなる大型のウニです。トゲの先端に毒があります。刺されたら、トゲを抜き、40～45℃のお湯につけると痛みが和らぎます。



ウミケムシ

潮だまりなどの浅い海の砂の中にいます。体の側面に生えた毛に毒があります。刺されたら、セロハンテープ等で毛がきれいに取れます。痛みが残る場合は40～45℃のお湯につけると痛みが和らぎます。



シャコ

潮だまり等でよく見かけます。補脚と呼ばれる前足が強く頑丈で貝を叩き割るほどの力を持っています。手を近づけると叩かれてケガをすることがあるので気をつけましょう。

注意点

- ・見たことのない生き物や知らない生き物にはさわらないように。刺されて痛みがひどい場合や腫れがひかない場合はただちに病院へ。

魚類

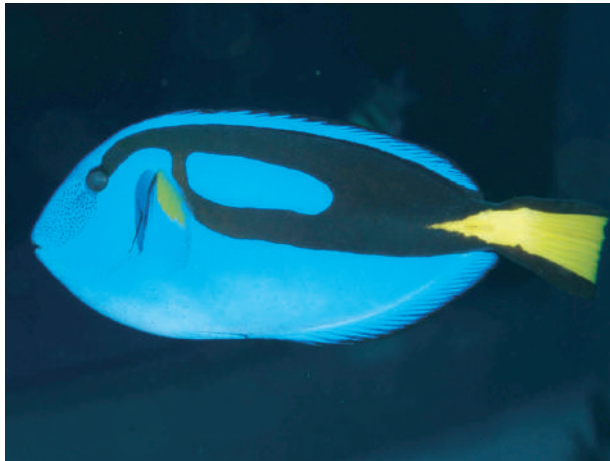
オニダルマオコゼ



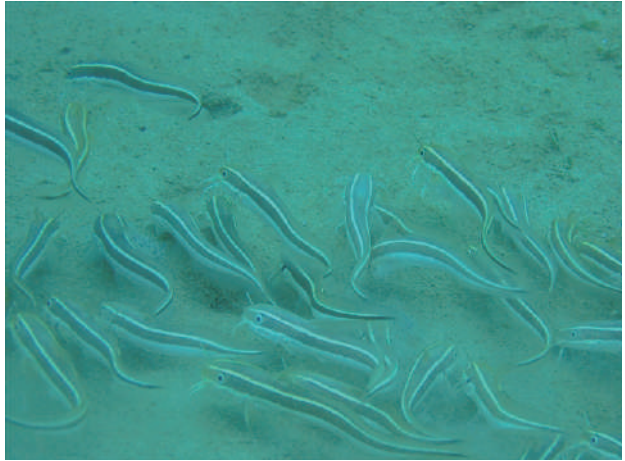
ミノカサゴ



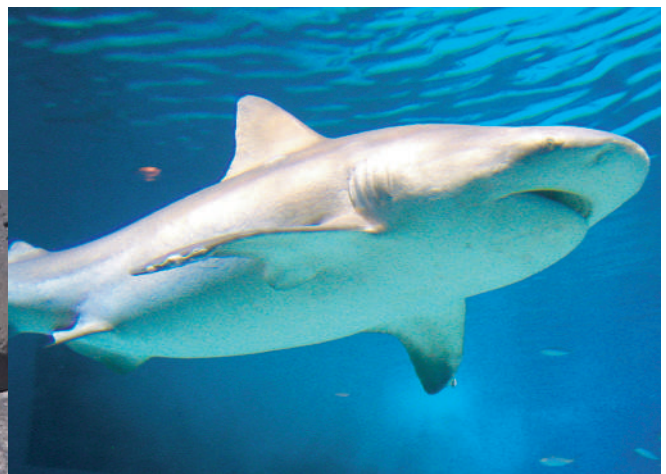
ナンヨウハギ(ニザダイ類)



ゴンズイ



サンゴ礁の海には尾ビレや胸ビレなどに鋭いトゲや毒トゲを持つ魚が多くいます。これらの魚に刺されると深い傷になったり、激しく痛むことがあります。被害にあったら、トゲを抜き、40～45℃のお湯につけると痛みが和らぎます。



するどい歯や口ばしを持つ、サメやダツの仲間にも注意が必要です。